

みんなで考えよう 将来の「土地利用」のあり方 南信濃地区 土地利用計画策定 地区懇談会だより ～ 創刊号 ～

ホームページアドレス <http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>

第1回 地区懇談会が行われました

日時 平成17年11月4日(金) 午後6:30~9:00
場所 学習交流センター
参加 検討委員21名

事務局より総合的な土地利用計画についての説明の後、南信濃地区から選出された検討委員が3つのグループに分かれ、身近な面から南信濃地区の現状について、各自の思いを議論しました(各グループから出た主な意見は3、4ページのとおり)。今後も検討委員の皆様によるグループ討論などに取り組みながら、検討を進めていきます。飯田市の土地利用計画については、次ページをご覧ください。



グループごとに意見を出しあいました



グループごと発表を行いました。

「土地利用計画」とは

「将来にわたって住みやすく生き生きとしたまちづくりのために」地域づくりの基盤となる土地利用のあり方を示した計画です。

どうして「土地利用計画」をつくるのか

飯田市は、雄大な自然と暮らしやすい気候に恵まれ、それぞれの地域ごとに特色を生かした豊かな暮らしが築かれてきました。

しかし、近年 経済成長や車社会・交通網の発達に伴い、郊外への住宅地・商業地の無秩序的な拡大(それに伴う、道路や下水道施設の投資及び維持管理費の増大)、昔ながらの景観や自然の喪失、中心部や農山村地域における人口減少・高齢化などにより活力の低下を招くとともに、農地の保全や農業の維持が困難となってきています。

このような状況の中、すばらしい景観や自然を守り、住みやすく生き生きとしたまちを実現し次世代に引継ぐためには、計画的な地域づくりが必要であると考えられます。また、持続可能な地域経営のために従来の土地利用のあり方を見直して、計画的な土地利用を行う必要があると考えられます。

飯田市が行う「土地利用計画」とは

飯田市では、平成18年度にかけて、市や地域の土地利用計画を市民の皆さんと協働して作り上げていくこととなりました。

具体的には、土地利用の全体方針（国土利用計画）を始めとして、目指す都市像（都市計画マスタープラン）、農業施策と農地利用（農業振興地域整備計画）、景観づくりの方針・ルール（景観計画）などを**総合的・体系的に策定**することとし、併せて地域の皆さんの意見や個別の開発計画等を調整する仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



今回の土地利用計画の実現は、行政だけでは出来ません。計画づくりやその運用に多様な市民の皆さんの参画を頂きながら行いたいと考えています。今回開催した地区懇談会もその一つです。

「土地利用計画策定 地区懇談会」とは

<役割>

- 飯田市全体に関係する土地利用の課題の共有化、基本的方針（骨格）についての意見の反映
- 南信濃地区における土地利用の現状把握、将来の土地利用の方向性の検討とまとめ
- 土地利用計画運用等の仕組みづくりの検討

<検討委員>

南信濃自治振興センターから推薦された、26名で構成されたメンバーです
上記の方以外で参加を希望される方は、下記のとおりお集まりください。
若い人の参加をお待ちしております。

<次回地区懇談会>

日時 平成17年12月21日（水）午後6時30分から

場所 南信濃学習交流センター

内容 土地利用についての地区の課題と対策などについての話し合いを行います。

第1回 南信濃地区懇談会で出た主な意見

南信濃地区の現状は？

自然が豊かで、人情味がある良い人たち
少子高齢化が進んでいる...

生活、公共・福祉サービス

よいところ・宝

- 人とのふれあい、助け合いがある
- 時間がのんびりしている。家が離れているのであまり干渉されない
- 生活にあまりお金がかからない
- 留守をしても鍵をかけずに出かけられる
- 野菜などを分けてくれる
- 買い物が一箇所ですべて揃って出来る。お金を持って行かなくても買える（後払い）
商店街に近いので便利（和田）
- 休日のデイサービス、福祉バスなど、サービスがきめ細かい、施設も良い
- かぐらの湯に入れる
- 医者、歯医者揃っている

問題・課題

- 生活道路が狭い。国道、三遠南信の改良、開通（緊急車両、事故、災害時危険）
- 後継者のいない商店ばかりで、不便になる
- 近所で買い物ができない（点在した集落）
- 空家が多い、目立つ
- 高齢化による福祉サービス（施設）利用者の増大
- 段差のある公共施設があり、高齢者には不都合
- お医者さんの高齢化、無医村になったら困る

商・工業

問題・課題

- 地場産業がない
- 商工業の発展のためには人口減少が気になる
- 市街地、大型安売り店に人が流れる（商店が閉店状態）用地がない

農・林業

よいところ・宝

- お茶の良いものがとれる
- 農地が汚染されていない
- 高冷地で野菜がおいしい
- 一人ひとりが技術、特技を生かしている
- 山林資源が多い、良材の杉が多い

問題・課題

- 後継者の減少、いつまでできるか不安
- 荒廃した土地が多い
- シカ、イノシシ等の被害が多い
- 農地の傾斜が強いので、機械力が使えないところがある
- 伐期がきている
- 森林の手入れ、林道整備の遅れ

自然環境、歴史・文化

よいところ・宝

- 南アルプスの自然資源
- 空気がきれい
- 星が美しい
- 山と川が誇り
- 霜月祭り
- 御射山まつり（花火のこだま）
- 住民が歴史文化に誇りを持っている

浜松 - 飯田を結ぶ 南信州の玄関口となる

こうなってほしい こうなってほしくない

道路・交通

三遠南信、青崩峠の早期開通
生活（地区内）道路の改良
国道を二車線に。時間の短縮を図る
市内への、小型バス、マイクロバスでも
いいので回数を増やしてほしい
三遠南信自動車道の開通で、単なる通過
点にならないように

生活環境等

除雪、塩カル対策を今までどおり行って
ほしい
合併浄化槽を積極的に設置して、環境を
良くする（川の保全）
子供の遊び場、公園がほしい
若者が定住してほしい。（対策も）
働く場所が増えると良い
アパート、マンションを建てないでほし
い
ゴミの集積場の確保（投げ捨てを防ぐ）
今の居住環境（静かさ、公害）を保持し
たい
新飯田市となって、生活に差別してほし
くない

福祉・公共

在宅福祉の充実、福祉サービスの維持
特養の増床
一人一回はボランティアを行うように
努める
体育施設は当面といわず、無料にしてほ
しい

農林・観光・自然

食糧危機に備え、農業を大切にしたい
有害駆除を進め、農地を守る
基幹作物をより進め、安定した生産
がとれるようにする
荒廃地の有効活用と特産物を
山林の整備（間伐）をし、美しい山
を
伐期がきているので、花粉の出ない
杉を植え直してほしい
若者の働き場としての山林振興
山林に接した荒廃した農地に、動物
の食事となるような、実のできる木
を植えてほしい
水害のないところ
動物との共存共栄
川を魚を多く放流し釣り人や、南ア
ルプスを宣伝し、集客を増やす
豊かな自然（山、川）をきれいなま
まで
梨本林鉄を生かして、観光にする
南アルプス登山道の整備
便ヶ島の道路整備
農工商がひとつになり頑張る
【マレットゴルフ 温泉 宿泊 買い
物（地場産）】
シカ、イノシシ等による被害の拡大
後継者不在、農地の荒廃

今後、懇談会の様子などを「地区懇談会だより」として、地区の皆様にお届けします。
ご意見、ご感想等がございましたら、下記までご連絡ください

飯田市役所

〒395-8501

飯田市大久保町2534 22-4511 Fax 53-4511

E-mail: @city.iida.nagano.jp

企画課・管理計画課・農業課・農業委員会事務局・建築課

連絡先 企画課 担当：篠田 鈴木 内線3223

南信濃自治振興センター 総務係

土地利用計画に関することや、地区懇談会だよりは、

飯田市ホームページでもご覧になれます

ホームページアドレス「<http://www.city.iida.nagano.jp/kikaku/tochikeikaku/>」